

令和8年度当初予算 概要

令和8年2月
市議会事務局

1 令和8年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和8年度 当初予算案(A)	令和7年度 当初予算(B)	増減 (A)-(B)
一般会計	405	402	3

※職員給与費を除く

2 主要施策

北九州市議会は、地方自治制度における二元代表制の一翼を担っており、執行機関とは独立・対等の立場で、議案等の審議・審査により北九州市の意思決定を行うとともに、市長や執行機関を適切に監視・評価を行い、市政の課題に対する政策提言を行う等の役割を有している。

そのような中、社会経済情勢の変化に的確に対応し、市民の負託に応えるため、令和7年10月に「議会運営」「議員」「議事堂」「市議会事務局」それぞれの課題と対応策をまとめた「北九州市議会改革方針」を定めた。

今後とも、改革方針に基づき、議会運営委員会や議会改革協議会等による協議を積極的に進め、市民との協働による開かれた議会の実現を図り、市民の福祉の増進及び市政の発展に寄与していく。

市議会事務局としても、議会活動を支援し、効果的かつ円滑な議会運営の確保に努める。

1 市民に開かれた議会の実現

35百万円

市民が市議会に関心を深めることができるように、本会議や委員会のインターネット配信など、議会広報を引き続き充実させていくとともに、効果的な議会広報を企画立案する会派の枠を超えた「広報チーム」の設置、「議長定例記者会見」の中継及び配信、「主権者教育」の推進などに取り組み、広報活動を強化する。

市議会広報活動強化事業

市議会だより・市議会中継配信事業

市議会中継システム更新事業



2 議会の機能強化

261百万円

人口減少や急速に進む少子・高齢化、デジタル社会への対応など、社会経済情勢の変化を踏まえ、市政の課題について調査・研究し、政策立案及び政策提言を行うための環境整備など、議会の機能強化を図る。

議場モニターの新設

市議会政策立案の支援

市議会タブレット端末の運用



<議場モニターのイメージ>

3 主な事業

新規 **・市議会広報活動強化事業**

124万円

市民に開かれた議会の実現に向けて、会派の枠を超えた「広報チーム」を設置するほか、「議長定例記者会見」の中継及び配信、「主権者教育」の推進などに取り組み、市議会の広報活動を強化する。

○ 「広報チーム」の設置

開かれた議会を実現するため、議会広報について、
一体的、効果的かつタイムリーに提案等を行う、会派の
枠を超えた議員で構成される「広報チーム」を設置する。



○ 「議長定例記者会見」の中継及び配信

議会情報の発信を強化するため、市議会定例会
閉会日に、議論の振り返りやトピックス等について、
議長による記者会見を行う。



○ 「主権者教育」の推進

若い世代が政治を身近に感じ、地方議会への理解と関心を深めてもらう
ことにより、自ら考え、判断し、地域や社会で行動していく主権者を育成する
ため、議員と学生との意見交換会などの事業を行う。



新規 **・議場モニター新設事業**

447万円

市議会と執行機関との議論を傍聴者に分かりやすくするため、本会議での発言内容の
字幕表示や議場配布資料の表示などを行う大型モニターを議場に設置する。

【問合せ先】
市議会事務局 総務課
原田(課長)、生島(係長)
電話 093-582-2621